

多賀城二中

「誰かのため」学ぶ機会に



これがイチオシ

300万本のアヤメ 美しく

800種300万本もの美しく多様な色彩のアヤメが咲き誇るここは「多賀城跡あやめ園」です。名前の通り、多賀城跡の一角にあり、学校から徒歩10分程の位置にあります。駐車場やJR国府多賀城駅も近くにあり。

アヤメは多賀城市の市花となっており、見頃を迎える6月下旬～7月上旬に行われる「あやめ祭り」は毎年多くの人で賑わい、夜にはライトアップもされ、とても美しい光景が見られます。みなさんもぜひあやめ園に足を運んでみてください！

学校名 多賀城市立第二中学校
所在地 多賀城市南宮八幡170
創立 1976年
電話 022(368)3080
校長 木村 真也
生徒 428人

多賀城市は来年で創建1300年を迎える歴史ある町です。歴史が深いものが多く点在し、その中に多賀城市立第二中学校があります。生徒会執行部を中心にさまざまな活動を行っており、本年度、有志で行う「ボランティア委員会」を発足させました。自主性や社会性、創造性などを活動原則とし、ごみ拾いなどの活動を通して授業や部活動などでは得られない「誰かのために働く大切さ」を学ぶ機会としていきます。

重要拠点として栄えていた福岡県太宰府市と多賀城市は友好都市になっており、毎年10月頃に太宰府市内の中学校と交流会をしています。新型コロナウイルスの影響でリノウイルスの影響でリモートで行っていましたが、昨年度から対面に戻しました。地域や学校の特色について発表し合ったり、地域の文化に触れたりしています。太宰府市の魅力や文化、伝統について学ぶと同時に、私たちも「ふるさと多賀城」について深く考える良い機会になっています。

ボランティア活動に励む生徒たち



編集委員 菊地颯、米山芽花、伊藤瑞記、熊谷拓真、遠山小夏（3年）
指導教員 郷家祐輔

ボランティア委が発足

わが校わがまち スクール通信



次回は
中津山小（登米市）
七北田中（仙台市）

丁寧に作業 甘くおいしく

永野小

4年生が校庭で梨作り



これがイチオシ

合言葉は「タピオカ+」

永野小学校では、1年生から6年生までみんなが元気良くあいさつできるようにつくられた合言葉があります。「タピオカ+（プラス）」です。

この合言葉には意味があります。タは立ち止まって、ピはぴしっと、オは大きな声で、カは必ず、+（プラス）はおじぎです。この合言葉は「元気なあいさつが飛び交う永野小学校に」との願いを込めて、卒業した永野小の先輩たちが中心となって考えたものです。この合言葉の力で、学校全体のあいさつ力が高まってきています。

学校名 蔵王町立永野小学校
所在地 蔵王町円田北浦16
創立 1947年
電話 0224(33)2014
校長 斎藤 江美
児童 101人

全国に誇る果物の産地として有名な蔵王町。永野地区では梨作りが特に盛んです。永野小学校では毎年、4年生が体験しています。校庭には、新高と豊水という2種類の梨の木があり、今年も大きく立派な梨ができました。梨作りでは、さまざまな作業を行います。摘果という作業は、3個の小さな緑の梨の実ができるのと、軸が太い実を残して他の実を切るものです。受粉という作業では、ひとつひとつのめしべに良い品種の花粉を

付けます。たくさん作業を毎日丁寧にやることのできるのですね。梨は収穫して食べます。4年生は「シャリシヤリしておいしかった」「とても甘かった」と言っていました。梨作りは、地域のボランティアの方が、仕事の合間をぬい、作り方についてくわしく教えてくださったり、お世話をしてくださったりします。永野小では、地域の方と一緒に梨作りなどをするので、地域の方々と仲を深めています。

地域の方に教わりながら梨の収穫をする子どもたち



編集委員 斎藤理彩、高橋歩美、平間琉愛（6年）
指導教員 大内秀美